

生産性向上・業務効率化

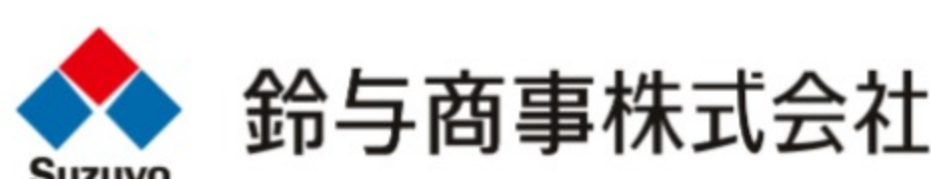
入力はカンタン、集計は自動「現場定着型案件管理」

オフィスソリューション

DX/ITソリューション



鈴与商事株式会社 [会社HP](#)



小澤 健人さま / 課長

業種

清水 迅将さま / アプリ作成者(営業担当者)

土木・建設業 製造業 電気・ガス・熱供給 情報通信業 物流・運輸業
卸売業・小売業 サービス業

活用用途 営業案件の一元管理：案件名/金額/確度/期日/担当の統一入力

導入前の状況

1. 案件台帳が担当ごとにExcel/個人アプリで分散。SFAは行動のみ最新で数値更新が遅れ、担当者との確認・手戻りが常態化。
2. 案件確度や売上金額の入力にバラつき・未入力が多発し、正しい集計には担当者への都度確認が必要。
3. 週次・月次会議に向け振り返りと打ち手を整理したいが、数値の正確性が担保されず、意思決定と次アクションの確定が遅延。

要件や選定の決め手

1. 現場が迷わず入力できるExcel感覚のUI。必須項目・プルダウンを標準化し、会議で使う指標はマスト入力として数字のブレを防止。
2. 数字を単一ツールに集約し、担当/確度/期間を即時集計。役割分担：SFA=行動、案件管理=数値で混在を回避。
3. 短期間で内製改修できる拡張性と低コスト（月額1,800円/ユーザー）で、スモールスタートが容易。

導入による効果

1. 担当/確度/期間の数値を単一ツールで即時集計でき、週次・月次の会議準備時間が大幅に短縮された。
2. 必須項目・プルダウン・会議用の統一表示で入力表記のゆれや未入力が増え、差し戻しが減って集計精度が向上した。
3. 短サイクルでの内製改修が可能になり運用定着が進み、他部門へのテンプレ横展開やCSV連携による拡張も容易になった。

現場主導の可視化で意思決定を支える

ー[インタビューー] 導入に至った経緯について教えてください。

大きく3つの経緯があります。

まず一つ目ですが、案件台帳が担当ごとにバラバラで、Excelや個人アプリに分散していました。SFA^{※1}は行動の記録は追えていましたが、数値の更新が追いつかず、「これ最新？」の確認と手戻りが常態化していました。

二つ目ですが、案件の確度や売上金額の入力にバラつきや未入力が多く、正しい集計を出すには毎回担当者へ細かくヒアリングが必要でした。確認する側もされる側も、時間とストレスの負担が大きかったです。

三つ目は、週次・月次の会議で振り返りや打ち手を整理したくても、前提となる数値の正確性が担保できず、意思決定がどうしても遅れがちでした。

さらに、二つ目の課題も影響して、整理そのものに時間を取られ、検討のための時間が確保しづらい状況でした。

※1 SFA：営業活動（訪問・コール・メモ等）の履歴管理を主目的とするツール。



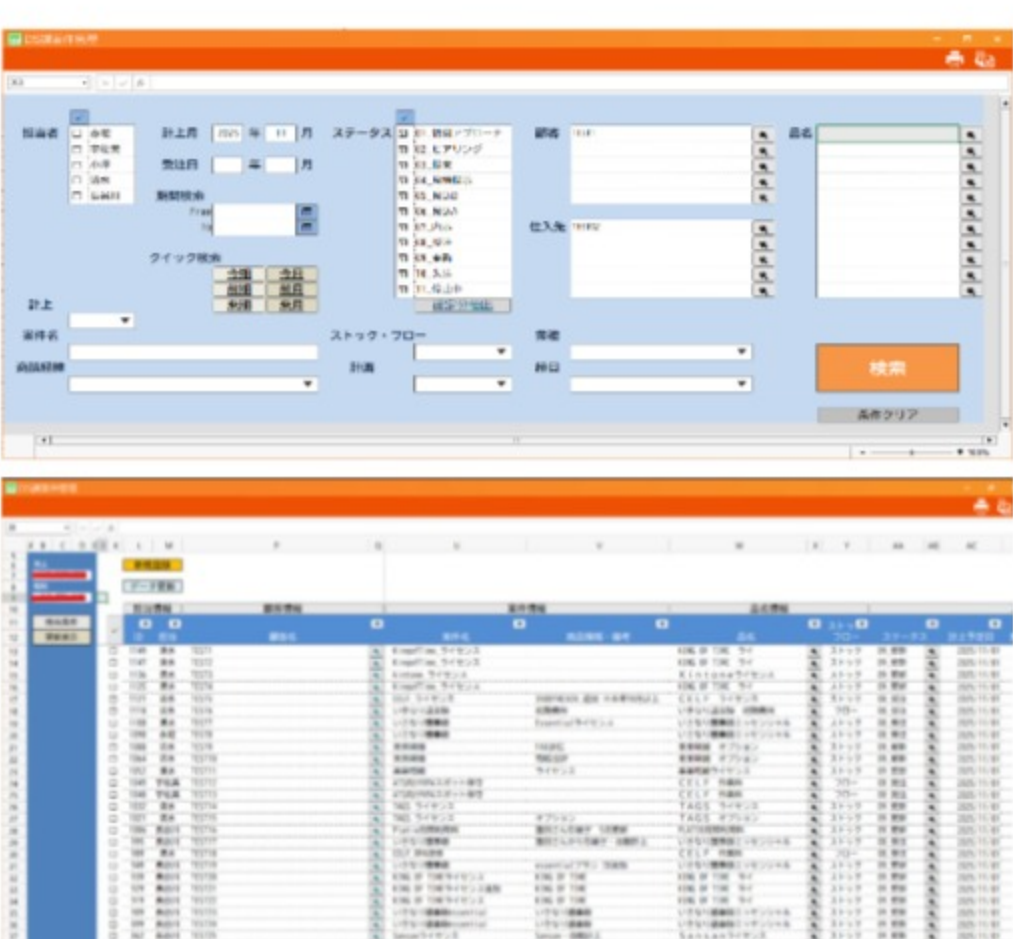
Excel感覚×単一集計で定着を促す

ー[インタビューー] 要件や選定の決め手について教えてください？

まず、現場が迷わず入力できることを最優先にしました。Excelの感覚で扱えるようにし、必須項目とプルダウンをあらかじめ定義。会議で確認する指標を漏れなくカバーし、“必ず入力”を明確化することで数字のブレを抑えています。

次に、数字を一つのツールに集約しました。いわば「最新データが集まる場所」を決めて、担当者・案件の確度・期間でパッと集計できるように設計。クラウド運用なので、いつでも・どこでも・誰でも(権限に応じて)最新データを共有・参照できます。あわせて、SFAは行動の記録/案件管理=数値の管理という役割分担も明確にしています。

最後に、スピードと始めやすさです。社内で素早く手直しできるので改善サイクルが早く、費用も月1,800円/ユーザーに抑えられます。まずは小さく始めて効果を確認し、無理なく段階的に拡大できる進め方にしました。



2週で立ち上げ、回しながら磨く

ー[インタビューー] 導入プロセスはどうでしたか？

最初に「型」決めて、その型どおりに進めました。

まずは要件整理を約2時間で簡易的に実施。入れる項目、集計の切り口、権限、そして会議で必ず見る視点を先に決めます。次に施策一現場テスト(約2週間)。実データで触ってもらい、出たフィードバックはその場で即改善しました。

準備が整ったら本番リリース。周知とクイックマニュアルを配布し、提出ルールの運用を開始します。あとは小さな改善を内製で短サイクルで回す。この流れで、無理なくスムーズに定着させました。



週次・月次を止めない運用で生産性を高める

ー[インタビューー] 導入後の効果は？

まず、単一ツールで担当者・案件確度・期間を即時集計できるようになったので、週次・月次の会議準備が半分近く短くなりました。

次に、必須項目+プルダウン+会議用の統一表示で入力の表記ゆれや未入力が減り、差戻が少なくなって集計精度も向上しました。

最後に、内製で短いサイクルで直せるので運用の定着が進み、他部門へのテンプレ展開やCSV連携による拡張もスムーズに進んでいます。